

もり りんやちよう
〈森林でのお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）〉

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



南信署 上村森林事務所

首席森林官 白子和広

上村森林事務所は、長野県南東部に位置する飯田市の、旧上村・南信濃村の北は程野山国有林から南の青崩国有林まで、約一二、八六八㍏を管轄しています。

一般的には遠山郷と呼ばれるこの地域は、南アルプス（赤石山脈）の南部西側と伊那山地に挟まれた典型的な山村地域にあたります。

部内には日本百名山の聖岳（標高三、〇一三メートル）、光岳（二、五九一メートル）、二百名山の上河内岳、池口岳、三百名山の茶臼岳など南アルプス南部の美しい稜線が続きます。地学的特徴を広く普及する目的で、伊那谷に沿う中央構造線

エリアが南アルプス・ジオパークに登録され、二〇一四年には南アルプス全山域が、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的としたユネスコ・エコパークに登録されています。

本年七月十四日から十六日にかけて、聖岳南方の聖平において、静岡県が実施する植生復元活動に南アルプス食害対策協議会として参加しました。

ニホンジカによる食害の影響で土砂流出や乾燥化が進み、ニッコウキスゲを中心としたお花畑が消



富士と高山蝶（南アルプス 南岳）



植生マット（ヤシマット）設置

滅するなど深刻な状況にあることから、静岡県職員と静岡県募集ボランティア（約三十名）、飯田・伊那市職員と長野県側ボランティア（約十名）が、平成十四年度以降設置されてきた防鹿柵の補修とスポット的な小型柵設置、植生マットによる表土流出防止対策の修繕に加え、聖岳から上河内岳間の清掃登山を行いました。

登山と作業で、かなりきつい内容でしたが、ボランティアをはじめめとする参加者の皆さんは満足そうに下山していきました。

当事務所でも、有害鳥獣駆除として、ニホンジカを対象に（くくり罠）により年二十五から五十頭の捕獲をしています。その他にも



上村森林事務所の二名
左側が筆者

猟友会による銃器による捕獲、食害対策の防獣ネットの設置など様々な対策を講じています。いずれにしても地元の猟友会や行政の皆さん、地域の方々、ボランティアの方々のご協力があったからこそ対処できているものです。

■未来の担い手へのメッセージ

日々の林野巡視をはじめ、未来に育ていく森林を思い描きながらの森林施業、ニホンジカ対策や突発的な山火事、山地災害の対応などを行っていく上では、地元、地域をはじめとする多くの方々のご協力と民有林行政との連携が重要と、日々感謝し職務を行っています。

多くの方々と大自然の力にて森林は永遠に引き継がれます。来たるこの美しき森林の若人として！

もり
〈森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



飛騨市森林組合

畑中 隆宏

(二〇〇八年入社)



集材中に一休み (畑中さん)

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業 (保育間伐活用型)

飛騨一〇)

発注者・飛騨森林管理署

高山市国府町地内保木協ほきわき国有林

および飛騨市宮川町地内屋敷ヶ洞やしきがほら

国有林の五八・八九畝を間伐しま

す。列状間伐による間伐率三〇%、作業路開設による路網整備、チェーンソー及びハーベスタで伐倒、グラップル・ウインチで集材、造材はハーベスタ、フォワーダによる搬出等、高性能林業機械作業システムにより一、九〇〇立方メートルの間伐材を搬出する森林環境保全整備事業です。

■現場での役割・魅力

林業のやりがいとして一番は、やはり施業した後良い森、良い山になったと実感できるときだと思えます。そして、何年か後に元気に成長したその森を見たとき、もつと実感できます。

この飛騨の地は、針葉樹よりも広葉樹の森の方がかなり多く面積を占めています。近年当組合は、広葉樹施業にも力を入れていきます。スイスからフォレストアを呼んで学んだり、広葉樹の樹種を学んだりすることは、新鮮でとても楽しいです。

これに限らず色々なことを学べることや必要な資格取得ができるのは、とてもうれしい環境です。施業する現場がそれぞれ違う中



スギの林

で、どうしたら効率的にできるか考えなければならぬことは、プレッシャーでもあり励みでもあります。個人的にもチームとしても失敗を繰り返しながら、少しずつ技術が身についてきていることは、労働生産性に表れていると思います。

当組合の労働生産性が全国でもトップクラスだと聞きますが、仕事への意識がそうさせているのだと思います。

■森林・林業の

世界に入ったきっかけ 森林・林業の世界に入ったきっかけは、特にはないのですが、同級生の友が先に当組合で働いており、自然の中の仕事は楽しいと言っていたことも一つのきっかけです。

地元で建築の仕事がしたいと専門学校を卒業しましたが就職先が無く、元々木や木材に興味を持っていたことから、それに係わる仕

事がしてみたいと思いこの仕事に就きました。

最初は体力的にきつい仕事でしたが、徐々に奥の深い仕事だなあと興味がわいてきました。

■未来の担い手へのメッセージ

林業は、正直とてもきつくて危ない仕事だと思えます。ですがそればかりではなく、やってみないと分からないやりの魅力がまだまだたくさんあります。自然の中で仕事をするのはとても気持ちが良いものです。林業も人手不足で若者が少ないですが、機械化が進むなか若い人の力が必要です。少しでも興味のある方は、是非一度職場見学に来てください。



木材運搬の様子

もり 〈森林でのお仕事紹介コーナー（林業土木）〉



下請業者と打ち合わせする佐伯さん（中央）

発注者：中信森林管理署

事

請負工事：蒲原沢4復旧治山工

■事業の概要

（二〇一八年入社）

佐伯 さえき
尚也 なおや

株式会社 相模組

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

平成八年十二月に土石流災害で多くの犠牲者を出した蒲原沢は、急峻な谷間を流れ法面からの崩落等で、川をせき止め災害を引き起こすことから、植生基材の吹付により上流部の法面を保護する工事です。



山腹崩壊地上部の様子

■現場での役割・魅力

今回私が携わる工事は、土砂災害の起こりうる現場で地域住民の方たちの安全を守るための工事です。この工事を通して住民の方とのコミュニケーションを図りつつ安全を守るというのが一番のやり



朝のミーティングの様子

■林業土木の
世界に入ったきっかけ
私がこの職業に就いたのは、兄がこの業界に携わる職場で働いていたのがきっかけでした。
兄の仕事の話を聞いたり実際に現場を見せてもらったりしているうちに、私もこのような仕事をし

てみたいと思ったのが始まりです。
■未来の担い手へのメッセージ
この職業で私が思うことは、工事が進むにつれ、日々変化していく現場にあると思います。自分が携わってきた工事が進むにつれ、達成感が味わえます。
皆さんもこのやりがいのある職業を一緒に体感しましょう！



鋼製枠床固工